

岡山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和7年9月8日(月) 本部棟3階 入札室	
委 員	委員長 高見 泰弘 (香川大学施設環境部長) 委 員 青山 智紀 (弁護士) 委 員 小橋 仙敬 (公認会計士)	
審 議 対 象 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
抽 出 案 件 (合計)	12 件	(備考) 入札監視委員会設置要項に則り、互選により高見委員が委員長に選出された。 今回の審議対象期間においては、再苦情の申し立て及び同審議依頼はなし。
建 設 工 事 (小計)	9 件	
一般競争入札 (WTO)	0 件	
一般競争入札 (上記以外)	7 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	2 件	
設計・コンサルティング業務 (小計)	3 件	
公募型プロポーザル	0 件	
簡易公募型プロポーザル	0 件	
簡易公募型プロポーザル (拡大)	0 件	
標準型プロポーザル	0 件	
一般競争入札	1 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	2 件	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

意見・質問	回 答
1. 岡山大学において発注した建設工事について [資料1] [資料2] ・特になし 2. 岡山大学において発注した設計・コンサルタント業務について [資料3] [資料4] ・特になし 3. 審議対象工事等に関する点検事項について [資料5] ・特になし [資料6] ・各事業の公告期間について、金額等による具体的な日数の規程を定めているか。 4. 審議対象工事等（抽出案件）について [資料7] 資料7－1 ・特になし 資料7－2 ・特になし 資料7－3 ・特になし 資料7－4 ・特になし 資料7－5 ・7月に契約した同種工事では参加者が確保できていたが、本事業との差は発注時期であるか。	・通常の一般競争入札であれば、原則公告期間を10日以上設けることとしており、参加者が少数と予想される場合は長めに設定している。また、年末年始や夏季休暇（お盆）など、大学の休業期間や手続き上の休日を挟む場合は、実質的な期間が短くならないよう長めに設定しており、昨今の働き方改革の観点から休業日が増加傾向にあるため、その辺りも考慮している。 ・7月に契約した外灯工事ではその他工事として事業内容に高圧ケーブル更新を含めていたことから納期を考慮して工期を長く設定していた。本事業は外灯工事のみであったことから7月の

資料 7－6 ・再公告案件で様々工夫いただいているが、本案件では、最初から 2 級上位（A 及び B 等級）を含め募集を行っているが特別な理由があるか。 ・参加業者が少ない原因として、時期的な問題もあったか。 資料 7－7 ・特になし 資料 7－8 ・特になし 資料 7－9 ・特になし 資料 7－10 ・3 者のうち、2 者が欠格となっているがこれは厳正に審査した結果か。 資料 7－11 ・特になし 資料 7－12 ・特に無し 【全体を通しての意見・ご質問】 ・印象として 1 者応札の数が少なくなってきたと考える。今後の対応としては、公告期間をもう少し長めにとる必要があるのではないか。また、他の工事が色々と出てくるため、公告を出す日付をなるべく早くする必要があると考え。今後もこの点については注視していく。 ・競合する公共入札事業者としてはどこが考えられるか。	工事と比べると短い工期設定で年度末完成工事であった。聞き取り確認をしたところ、電気設備工事は年度末に作業が集中することから、電気技能者が少なく参加を見送ったとの回答を得た。 ・本事業はプレハブの仮設校舎建設事業であり、対応できる業者の多くが A 等級であったため、2 級上位も含め競争参加者の設定を広げることとした。 ・聞き取り確認したところ、設計時には技術者を確保できていたが、公告のタイミングで他事業と重なり、専任の技術者が確保できないという回答を得た。 ・1 者が管理技術者に求める業務実績について本学が求める業務実績未満の実績であった。もう 1 者は、管理技術者として義務付けられている定期講習を未受講であったため、欠格となった。 ・岡山市、岡山県だけでなく、各省庁及び他の国立大学も競合相手と考えている。また、大規模工事については県内にとどまらないと考えている。
--	---

5. その他

再苦情処理について

- ・ 申立て無し。